

大学院における実践力養成のためのプログラム

特別支援教育講座
吉松靖文

1. 授業の概観

本授業は、前期の授業を受け、実践力を養成するために解説している授業の一つである。前期で学んだ発達検査の見方や日々の学習・行動の記録等を総合的に解釈し、子どもの特性・ニーズに応じた教育支援を立案・実行・評価・修正を行う力を身につけることを目的としている。そのため、毎回、受講生は持ち回りで発表することに案っている。その際、発表者は、教育支援に取り組んでいる子どもの資料を収集・整理し、発表する。発表に基づき受講生全員で、どのような教育支援が子どもにとって有効であるかを話し合い、発表する。その際、授業者がその話し合いに入るなどし、話し合いが深まるように援助を行っている。そして、最後に、授業者がコメントや解説を加え、発表者に今後の支援方針や教材の工夫等について総括を求めている。

なお、今期は、受講生全員が発表を行っても、授業コマ数に余裕が出たため、受講生の要望に基づいて、授業者が他の授業で扱わなかった発達検査の解説なども行った。

2. 授業評価法

受講者全員に対し、授業終了後、アンケート用紙を配布した。アンケートは無記名で、成績評価に一切関係しないことを伝えた。アンケート項目は図にあるような7点尺度による数値評価7項目、各項目ごとにその評点をつけた理由(記述式)、授業に対する意見・要望等の自由記述から構成された。回答者のプライバシー保護のため、受講生にパソコン上で直接記入できる pdf ファイルで、アンケートを作成した。これにより、筆跡から特定される可能性がないように配慮した。アンケートは指定された期日までに、各自記入の上、印刷し、授業担当者の研究室ドアポケットに投函することとした。

3. 授業評価結果

授業評価アンケートに回答した人数は7名で回

収率は100%であった。7点尺度による授業評価は図の通りであった。以下アンケート項目ごとに受講者のコメントを示す。

1. 教材の提示、資料の配布は適切に行われたと思いますか？

- 院生からの提案資料に対する解説を、即時に pdf で打ち込むなど、わかりやすかった。
- 各個人が提出した資料をパソコンで提示していただいたこと、授業内容を反映した資料を授業後にいただけたことが、わかりやすかったです。
- K-ABC の資料がとてもありがたかったです。

2. 教員の講義の進め方は適切だったと思いますか？

- 毎回の授業が一時間の中でまとまりのある内容であった。
- 受講者のニーズも聞いてくれて、柔軟な対応でとても良かったです。
- 計画性が感じられなかった。前期の授業と似ていた。

3. 教室の設備は十分だったと思いますか？

- プロジェクターは効果的であった。
- 床のタイルが何箇所も外れていた。

4. 授業に積極的に取り組むことができましたか？

- 事例の提案等、主体的に取り組む必要のなる内容であった。
- グループワークが多くて授業参加に意欲がわきました。
- 卒業後にかかわる相談を設定して、具体的に考えることができました。また、少人数で話し合う場が設定されていたので、話し合いが活発になったと思います。

5. 授業の内容はあなたの満足のいくものでしたか？

- 心理発達検査による評価と支援の方針を関連づけて考えることができました。
- 実際に自分たちがかかわっている事例をもとに話し合うことができ、具体性があったと思います。また、上記4と同様(4の3

番目の意見)ですが、自分が相談する立場であつたら動アドバイスをするかを考えることができました。

6. 授業の内容はあなたの役に立ちましたか?

- WISCIII の解析の精度が上がった。
- アセスメントの解釈をする見方がよくなりました。
- 上記5と同様(5の2番目の意見)です。
- 検査結果の解釈の仕方がよかった。

7. あなたの授業の理解度はどれくらいですか?

- 他の検査法との関連の理解には課題が残った。

8. 授業への意見要望等

- 今年度の課題の一つが WISCIII によるアセスメント能力の向上であつたため、大変勉強になった。
- 検査から見る子どもたちへの支援について、考えることができたので良かったです。また、K-ABC についてももしっかりご指導いただけ良かったです。ありがとうございました。
- 事例に基づいて少人数で相談した後、全体で話し合うという形は参加しやすく、自分のこととして考えていくことができました。検査官の関連も具体的に教授していただき、参考

になりました。ありがとうございました。

- 発達検査の解釈については、さすが吉松先生だなあと、感心させられました。多様な解釈の仕方が、とても勉強になりました。授業の中で、様々な支援法を教えていただきありがたかった。それに関係した本、または参考になる本の紹介があればよかった。

4. まとめ

図の通り、ほとんどすべての項目において受講生から肯定的な評価を受けることができた。受講生のコメントにも肯定的なものが多かった。特に本授業の有用性(項目 6)は高く評価された。受講生のニーズに応じた授業の工夫・改善がこの結果につながったものと思われる。

一方、ごく少数ではあるが、改善を求めていると思われるコメントもあった。受講生のニーズへの対応を重視するあまり、授業としての系統性がやや失われていたかもしれない。また、授業の目的や位置づけも受講生に明確にしていく必要を感じた。さらに、教室環境の整備も必要であろう。

今回の授業評価に寄せられた評価・意見をいかしてさらに実践的でよい授業を目指していきたい。

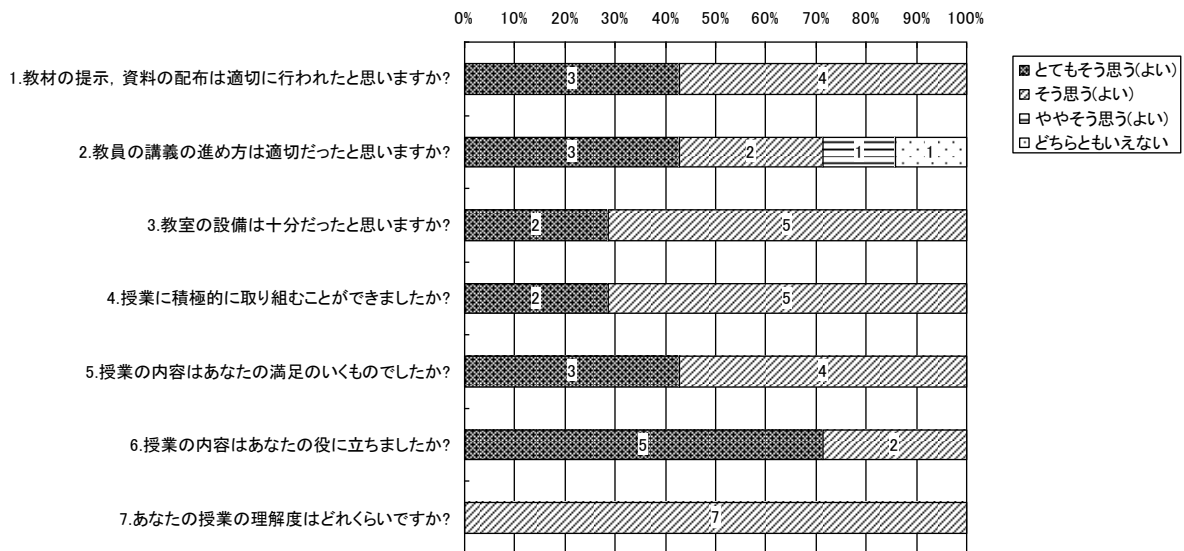


図 授業評価アンケートの結果